

## 第74回新潟救急医学会プログラム

日時 平成30年7月7日(土) 13時00分より

会場 新潟大学医学部第3講義室(新潟市中央区旭町通一番町757番地)

- 1) 医師、看護師、救急隊員ほか、救急医療に携わるすべての皆様のご参加をお願いいたします。
- 2) 参加費：1,000円
- 3) 本会は「新潟県医師会生涯教育講座」の一環として行います。
- 4) 本会は「新潟大学大学院特別講義」の認定を受けております
- 5) 演者の方へ 発表7分間、質疑応答3分間となっています(時間厳守)。
- 6) お問い合わせ：電話 (025)227-2338 新潟救急医学会事務局 本多忠幸

〒951-8510 新潟市旭町1-757 新潟大学大学院医歯学総合研究科救命救急医学分野内

開会の辞 (13:00)

新潟大学 本多忠幸

【情報提供】(13:05~13:15)

司会：本多忠幸(新潟大学)

「熱中症と経口補水液OS-1について」

株式会社大塚製薬工場 OS-1事業部 大西優作

【一般演題 I】(13:15~14:25)

- 1) 呼吸困難を呈した横隔膜ヘルニアの一例

新潟市消防局 中央消防署 鈴木 春光

- 2) さび止め(硝酸・硫酸)を吸入し発症した肺水腫の1例

新潟大学医歯学総合病院 高次救命災害治療センター 中野 恵輔

- 3) 痙攣にて発症し、ドクターヘリにて搬送・インフルエンザ急性脳症と診断された順調に回復した8歳男児例

南部郷総合病院 小児科 小野塚 豊

- 4) ごく短時間で下腿部のコンパートメント症候群を呈した交通外傷の一例

新潟市消防局 西蒲消防署 浅井 久寿

- 5) 初期研修医としての救外での腹部レントゲン読影がCTや入院後の診断と異なった3例

済生会新潟第二病院 谷 瑞生

- 6) 敗血症性ショックに対してエンドトキシン吸着(PMX)を施行しなかった例とした例

済生会新潟第二病院 新井 龍寿

- 7) 豪雪によるJR普通列車立ち往生事案での対応

三条消防 西川 勝志

>>>> 休 憩 (14時25分～14時40分) <<<<<

【一般演題 II】(14:40～15:50)

- 8) 魚沼基幹病院救命救急センター開院に伴う救急救命士の救急活動の変化と  
-救急救命士へのアンケート結果より-  
魚沼基幹病院 救命救急センター 高野 久美子
- 9) CCF 向上のために ～気道確保器具早期挿入の有用性～  
長岡市消防本部 外山 義之
- 10) 救急隊員生涯教育の取り組み  
新発田地域広域事務組合消防本部 天木 毅義
- 11) 外国人観光客に対する救急対応の現況について  
上越地域消防事務組合 頸南消防署 岡田 大心
- 12) オピオイド誘発性便秘症に対するスインプロイク®の使用経験 ～重症熱傷例から～  
新潟大学医歯学総合病院 高次救命災害治療センター 浅島 雄弥
- 13) 山間地におけるドクターヘリとの連携 ～早期医療介入のために～  
長岡市消防本部 佐藤 一樹
- 14) 救急隊による敗血症鑑別における簡易 SIRS スコアと q-SOFA スコアの比較  
十日町地域消防本部 山田 祥平

>>>> 休 憩 (15時50分～16時00分) <<<<<

【学術講演 救急医学】

特別講演 (16時00分～17時00分)

司会 遠藤 裕 (新潟大学)

「ABLS が教える熱傷初期診療のエッセンスと

ISBI Practice Guideline の推奨事項」

東京医科大学 救急・災害医学分野  
主任教授

織田 順 先生

共催 新潟救急医学会・株式会社 大塚製薬工場